

4日目 9月22日

会 場： 県立浜山球場

第1試合		～3回戦～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
益田東		1	2	0	0	3	0	0	0	0							6	11	2
立正大淞南		0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	5	1
(投手-捕手)																			
・ (益)		小野→橋本 - 西山																	
・ (淞)		勝部→山田→島田 - 鍛冶																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (益)														稲田					
・ (淞)		川端、米田																	
(審判) [球審]		福岡			〔一塁〕 清水洋				〔二塁〕 大谷				〔三塁〕 本田						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(益)	41	11	6	0	0	1	7	4	4	0		0		2	0	0	0	0	
(淞)	34	5	0	2	0	0	4	2	1	0		2		1	2	0	0	0	

「益田東、小野の6回零封でリベンジ果たす！」

夏の選手権島根県大会の決勝戦と同じ組み合わせとなった。益田東は小野、立正大淞南は勝部と夏を野手として経験した両先発で始まった。益田東は1回表に稲田が真ん中低めに入る変化球を上手く反応してライトスタンドへ本塁打を放ち先制する。続く2回表にも振り逃げと四球、犠打で2死2・3塁とし1番の河島が二遊間をしぶとく破る適時打で2点を追加し勝部をノックアウトした。

反撃したい立正大淞南だったが小野の角度ある直球にタイミングが遅れ1巡目を9人で抑えられる。それでも4回裏に安打と犠打で1死2塁としたが3番勝部が中飛、4番竹田が遊直に倒れ流れを渡してしまった。

すると益田東は5回表に連打で1死1・3塁とし、代打の細見がライトへの適時打を放つと、甲斐にも適時打が飛び出し大きな3点を加えた。立正大淞南はここでエースの島田をマウンドへ送ると、残りを無失点に抑えたが前半戦の失点が痛すぎた。立正大淞南は益田東2番手の橋本から8回裏に1死1・3塁としたが、儀間が空振り三振、勝部が投ゴロと倒れ反撃できなかった。

